

## 大学院経済学研究科を開設

本年4月、本学に経済学研究科を開設する。経済社会システム専攻（定員5名）と国際ビジネスコミュニケーション専攻（5名）からなるユニークな大学院である。経済社会システム専攻は経済学科を基礎にしているが、現代経済社会の理論研究を旨とする経済システム分野とコミュニティの総合研究を目指すコミュニティシステム分野から構成されている。国際ビジネスコミュニケーション専攻は国際商学科を基礎にしており、国際社会を背景に経営・情報の現在と将来を研究するビジネス分野と中国・韓国を中心にアジア諸国・諸地域の総合研究を深める国際コミュニケーション分野から構成されている。

本大学院は関門という本学の立地にふさわしくアジアに向かい、公立大学にふさわしくコミュニティを深める研究

科である。現代社会は世界的に大きく変動しており、広い国際認識と地域に根づく実践知が求められている。経済学という伝統の上にコミュニティ・コミュニケーションを加味した理論的・実践的研究が本学のユニークな特徴である。この新しい試みに学部卒業生の参加を期待するとともに、社会人の勉学が可能なように夜間授業も行う。在職サラリーマンや公務員、教員の積極的な入学を歓迎する。また、外国人留学生のためには日本語研修など特別プログラムを準備しており、本研究科が日本とアジアの交流と学びの場となっていくであろう。21世紀、新たなミレニアムに当たり、偽りでない知の育成と実践力の練磨が必要である。地域に根付き世界に開く本学の研究・教育のモットーに依りつつ、いま経済学研究科が開設される。

## 待望の学友会館が完成

市大生が待ち望んでいた『学友会館』の本体工事が完了し、現在、最後の仕上げの周囲外溝工事を行っています。初代の『学友会館』は現在B講義棟が建っている場所にありましたが、新講義棟建設にともない1990年に解体されました。その後10年の間、学友会各組織、サークルは空教室やプレハブでの活動を余儀なくされるなど紆余曲折はありましたが、やっと皆さんの要望を実現することができました。

建物は、地上四階建、総床面積2,322.85平方メートルで総工費は約6億円。外部は、全体を茶色を基調としたタイル貼り（4階のみ前面ガラス張り）にして周囲の建物と調和させています。また、外壁の一部をロッククライミング場利用するなど新しくてモダンな外観に仕上がっています。内部は、各階の中央に広い空間を配置し、ゆとりとした間取りとなっています。1階は学友会各組織の本部室4室と会議室、2階は留学生室とサークル部室10室、3階はサークル部室12室、4階は武道場となっており、部室には、文化系16サークルと体育系7サークルが入居する予定になっています。

今後学友会館の運営は、大学当局と学生の代

表で構成される『学友会館運営委員会』に委ねられますが、この建物の主役は皆さんですので、どうか有効に活用し、人間関係を深める場にしてください。この場所が課外活動の中心となることを期待します。



新学友会館（下）と同4階の武道場（上）

## 大学院・経済学研究科 学 生 募 集

本学では、平成12(2000)年4月より、大学院経済学研究科(修士課程)が発足する運びとなりました。

当研究科は、国際化、情報化、地域化といった時代の進展に対応し得る高度な経済学的認識と専門的な実践能力の育成をめざし、経済社会システム専攻に経済システム分野とコミュニティシステム分野を、国際ビジネスコミュニ

ケーション専攻にビジネス分野と国際コミュニケーション分野を置き、社会人や外国人留学生を含めて、さまざまなニーズに応え得る科目群を幅広く配置しています。

平成12年度の学生募集要項は以下の通りです。

### 1. 募集人員

|                   |     |
|-------------------|-----|
| 経済社会システム専攻        | 5 名 |
| 国際ビジネスコミュニケーション専攻 | 5 名 |

※各専攻の入学定員には社会人及び外国人留学生が含まれる。

### 2. 選抜方法

入学者の選抜は出願書類、筆記試験及び口述試験により総合判定する。

|              | 一 般 選 抜                                                                 | 社 会 人 選 抜                 | 外国人留学生選抜 |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------|---------------------------|----------|
| 外国語又は<br>小論文 | 外国語（英語、中国語、<br>朝鮮語より1科目選択）                                              | 小 論 文<br>（社会科学全般に関する常識問題） |          |
| 論 述 試 験      | 経済理論・社会政策・労働経済・地域産業・経営管理・人事労務管理・日朝関係史・<br>開発経済の8分野について出題するので、そのうち1問を選択。 |                           |          |
| 口 述 試 験      | 志願者の研究意欲、研究能力、研究計画、就学条件等を判定する。                                          |                           |          |

※外国人あるいは外国人留学生が一般選抜を受験する場合は、母国語を選択できない。

※社会人、外国人留学生も一般選抜を受験できる。

※外国語は辞書持ち込み可。

### 3. 試験期日・時間・試験場

| 期 日               | 教 科      | 時 間         | 試 験 場  |
|-------------------|----------|-------------|--------|
| 平成12年3月14日<br>(火) | 外国語又は小論文 | 9:00~10:30  | 下関市立大学 |
|                   | 論述試験     | 10:50~12:20 |        |
|                   | 口述試験     | 15:00~      |        |

### 4. 合格発表

平成12年3月22日(木)  
午前10時、本学下関  
市立大学にて。

## 推薦・帰国子女・社会人特別選抜入試、 編入学試験を実施

11月22日、本学において2000年度推薦・帰国子女・社会人特別選抜入試、編入学試験が実施された。全国推薦では、各学科25名の募集に対して経済学科65名(99年度91名)、国際商学科71名(同51名)、地域推薦では、各学科38名の募集に対して経済学科50名(99年度55名)、国際商学科51名(同58名)の志願者があった。帰国子女特別選抜では、各学科2名の募集に対して国際商学科2名(同3名)、社会人特別選抜では、各学科3名の募集に対して経済学科に1名(99年度なし)の志願者があった。また、来年度3年次生に欠員が生じるため初めて第3年次編入学試験を実施した。各学科の募集人員は若干名であるが、経済4名、国際商学科8名、計12名の応募があった。

合格者数は以下の通りである。全国推薦(経済学科26名、国際商学科26名)、地域推薦(経済学科39名、国際商学科39名)、社会人特別選抜(経済学科1名)、編入学試験(経済学科4名、国際商学科5名)。

志願状況を1999年度と比べると、全国推薦では経済学科で26名減少したが、国際商学科で20名増加し、それぞれ倍率は2.6倍、2.8倍と依然として高い倍率となっている。地域推薦は1999年度にその前年度より35%増と大幅な増加をみたが、2000年度入試では両学科とも1割の減少で倍率は共に1.3倍であった。社会人特別選抜では試験科目から外国語をはずしたが1名の志願にとどまった。初めて実施した編入学試験の志願者の学校別内訳は、4年生大学卒1名、4年生大学2年1名、短大9名、高専1名、合格者の内訳は、4年生大学2年1名、短大7名、高専1名であった。

## 青島大学・交換教授滞在記

財 部 忠 夫

今年、青島大学へ交換教授として派遣されることになり、8月22日(日)福岡空港を出発、上海経由、北京へと向かった。本来は、大学の出張命令は、9月1日から10月31日の2ヶ月であったが、せっかくの中国滞在であり、多少の休暇を事前にもらって、中国各地を旅行してから、青島入りすることにした。事前の中国旅行は、約3週間をかけて、北京、西安、洛陽、鄭州、少林寺、黄山などの各地を廻り、9月5日(日)北京に戻った。道中は、私の4年ゼミ生で中国からの留学生である「薫剛」君が随行してくれ、あれこれと面倒みてくれたので、快適な、心配の少ない旅であった。この中国旅行では、主として、私の趣味の「書道」に直接関係のある、石碑と美術館巡りが今回のテーマであった。中でも、北京の中国美術館の素晴らしい書の展示品と西安の碑林博物館の素晴らしい書には圧倒される思いであった。西安の碑林博物館では、著名な書家の拓本一式を購入してきた。

青島大学には、9月7日に北京発青島行きの飛行機で入校した。宿舎の国際交流学院は、海外からの留学生、教師の宿泊、授業、食事などの生活をともにする施設であり、施設内は充実したものであった。私に与えられた部屋は、2室あり、ベッド3つ、バス、トイレに冷蔵庫、洗濯機、ガスレンジも備えつけられた居住空間であった。

青島大学では、都合6回の授業を行った。日本語科の学生向けに4回、情報システム学科向けに1回、全大学向けに1回、実施した。日本語科の学生に対しては、「日本における情報システム化の現状」、「インターネットの光と影」、情報システム学科向けには、「情報共有の重要性」、全大学向けには、「ナレッジマネジメント」について、講義を行った。滞在の2ヶ月間、青島大学の国際交流学院・外事処の関係者はじめ諸先生方に非常にお世話になった。この紙面を借りて篤く御礼申し上げたい。



12月10日、シーモールパレスで開催された「第6回日本語による中国人の滞日体験発表会」(下関市日中友好協会主催)で本学留学生11人が発表した。

発表会の趣旨は、日本での体験を通して得た日本についての感想や意見を発表し、日本および日本語に対する理解を深める機会とする。さらには下関市民の中に日中友好の輪を広げようとするものである。

発表の内容は、日本文化への戸惑い、生活の中で味わったつらさや喜び、心の触れ合いの大切さなどであった。第1位の国際商学科2年の孫静さんは「かわいい女性」と題

して、女性の地位や自覚について述べた。第2位の青島大学からの交換留学生、劉偉君は「日本の留学生活について」のテーマで、学生の意欲について触れた。第3位の青島大学からの交換留学生、趙偉偉さんの「かわった日本人」も学生の自覚について触れた。あわせて公共の場における性に対する日本人の態度についても述べた。国際商学科1年の金玉花さんは、入学後まもなく乗用車に跳ねられて仙骨骨折などの重傷を負い、今も完治していない身で、「異国での入院生活」を発表した。日本人から受けたいわりのところが身にしみたことを披露した。

## 全日本中国語スピーチコンテストで 読売新聞社賞を受賞して

国際商学科 村 野 正 和

先日、東京で行われた第17回全日本中国語スピーチコンテストにおいて私は読売新聞社賞という賞をいただくことができました。このことは、私自身の力だけでは成しえなかったことであろうと思います。昨年、第16回の大会を、私は弁士としてではなく観客の一人として訪れました。その時は、私自身が次の年、第17回の大会に出場できるとは夢にも思いませんでした。私は自分の「力量の枠」というものを作っていたのかもしれませんが。あれから1年間、私が作っていたこの「力量の枠」を広げ、支えてくださったのは山田先生をはじめとする先生方や先輩方でありました。また後輩のたぐいまれなる成長にも啓発され、自身の語学力を高めることができました。こういった私を支えてくださる方々がいたからこそ、このような大きな大会において賞をいただくということを成しえたのであろうと思います。この経験は私の人生において大きな財産になることでしょう。

このような私を支えてくださった方々に感謝し、また今度は私が支える立場にたてるよう努力していくつもりです。今回の大会でとても多くの収穫がありましたが、その反面私に課せられた課題も見えてきました。こういった課題を克服することを目指し、よりいっそう精進していこうと考えています。

## 下関商工会議所の懸賞論文に 本学の学生3名が入賞

平成11年は下関市、山口経済研究所などあちこちがまちづくりに関する提言・論文を募集した年だった。下関商工会議所もその一つで、下関の商業について若者からの意見・提言を募った。

その結果、最優秀賞に中丸なつこさん(国際商学科4年)の「消費者行動と駐車場の関係」と玉石悦之君(国際商学科4年)の「若者の望む下関」が選ばれた。また、優秀賞に鈴木清君(国際商学科4年)の「下関活性化に向けて」が選ばれた。

このうち、中丸さんと玉石君の2人は12月13日に同会議所の下関若年層消費意識調査委員会の主催する「若者から見た下関の商業・サービス業について」というテーマでのグループインタビューに出席して、社会人とともに意見を述べた。

## 平成11年度就職状況

平成9年に就職協定が廃止され、早い企業では3月から会社説明会をはじめるところがでてきた。

この影響を受け、秋学期試験終了直後（2月下旬）から学生は就職戦線に突入し、本学の就職委員もその対応に奔走した。

99年度の内定状況は、バブル経済の後遺症、アジア経済危機等の影響による不況下で戦後最大の厳しい状況であ

る。そのため今年度の本学の内定状況は現時点（12.1.14）で昨年に比較すると11.6ポイントの減少になった。

文部省と労働省が調査した平成11年12月1日現在の就職内定状況調査（4年生大学）によると、就職希望大学生の地域別内定率は全国で74.5%と極めて厳しい状況である。その中で特に西日本は更に悪く、九州地区は60.6%（全国最低）、中国・四国地区は61.6%でしかない。

本学の平成12年1月14日現在の内定率は、男子65.1%、女子56.2%、全体で61.7%である。主な就職先は下記のとおり。

平成11年度就職内定一覧表（平成12年1月14日現在）

（ ）内は人数

|                                                            |                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                              |
|------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○農業（1）<br>アースグリーン庭創                                        | 阪急交通社<br>関光汽船<br>新東運輸<br>安川ロジステック<br>ホンダ運送<br>九州旅客鉄道旅行事業部                                                                                                                                               | コメリ<br>エイデン<br>アレフ<br>ジョイフル<br>マルキョウ<br>ゼビオ<br>サンデーサン<br>西沢本店<br>平瀬コーポレーション<br>健康家族<br>明星書店<br>光通信<br>ブックオフコーポレーション<br>ルイ・ヴィトン・ジャパン<br>紺筋銃砲火薬<br>福岡トヨベツ<br>ゼンショー<br>日産サテリオ福岡<br>山陽三菱自動車販売<br>井野屋<br>ネクサス<br>マックアビー<br>ファーストリテイリング<br>徳島大学生生活協同組合<br>ニューロビン<br>上昇<br>ハローディ | 水島信用金庫<br>高知信用金庫<br>広島信用金庫<br>吉南信用金庫<br>大牟田信用金庫<br>大分県労働金庫<br>NTTリース<br>住銀リース<br>日榮商事<br>ジャックス<br>山陰信販<br>しんわ                                                                                          | サンレー<br>データ通信システム<br>ラ・ベル・エポック<br>ビーマインド<br>スパワールド<br>ジーテック<br>応研<br>日本電子開発<br>キッセイコムテック<br>レゾネイト<br>韓国ロッテ<br>読売ツアースポーツ21<br>柳川経営研究所<br>アイデル<br>泉放送制作<br>大分県佐農協同組合<br>藤井智之税理士事務所<br>コスミック<br>笠岡市農業協同組合<br>翼システム<br>JA島根県本部<br>みろくの里本部<br>ゾーン |
| ○建設（2）<br>積水ハウス<br>安成工務店                                   | ○通信（1）<br>武雄テレビ<br>○商社（18）<br>日通商事<br>仁田商事<br>イーストポイント<br>国分<br>日本フード九州<br>スズケン<br>トーホー<br>シモセン<br>サンテック<br>タカミヤ<br>アベックス<br>東洋冷蔵<br>松林社<br>シネックス<br>トヨタ部品広島共販<br>ミラクルアートジャパン                           | ○銀行（16）<br>国民生活金融公庫<br>鳥取銀行<br>広島銀行<br>山口銀行<br>福岡シティ銀行<br>熊本ファミリー銀行<br>西京銀行<br>但馬銀行<br>十八銀行<br>紀陽銀行<br>阿波銀行                                                                                                                                                               | ○不動産（6）<br>大和団地<br>小倉興産<br>不動産中央情報センター<br>メイジュウ<br>緑都開発<br>ヤング開発                                                                                                                                       | ○国家公務（9）<br>社会保険庁<br>九州郵政局<br>航空自衛隊<br>中国地方建設局<br>運輸省第四港湾建設局<br>海上保安学校<br>陸上自衛隊                                                                                                                                                              |
| ○食料品（6）<br>山崎製パン<br>名古屋製酪<br>ロッテ<br>ヒライ<br>ふじや食品<br>イーグル興業 | ○小売（68）<br>ジャスコ<br>九州ジャスコ<br>イズミ<br>シズカグループ<br>ナフコ<br>ミスターマックス<br>ウェルマート<br>ブレナス<br>ライフフーズ<br>ファイブフォックス<br>大成社<br>大塚家具<br>ロイヤル<br>平和堂<br>アールピバン<br>フジ<br>嘉徳無線<br>サンキュードラッグ<br>アイ・ファミリーマート<br>マリン<br>やまと | ○証券（3）<br>丸三証券<br>東京証券<br>コスモ証券                                                                                                                                                                                                                                           | ○医療（2）<br>姫路医療生活協同組合<br>黒木記念病院                                                                                                                                                                         | ○地方公務（12）<br>下関市役所<br>山口県庁<br>北九州市役所<br>赤穂市役所<br>姫路市役所<br>大洲市役所<br>日南市役所<br>鹿屋市役所<br>三田川町役場<br>遠賀郡消防本部<br>長崎県警察                                                                                                                              |
| ○衣服・繊維（1）<br>ビッグジョン                                        |                                                                                                                                                                                                         | ○商品取引（1）<br>エース取引                                                                                                                                                                                                                                                         | ○教育（2）<br>北九州予備校<br>進学会                                                                                                                                                                                | 合計 248名                                                                                                                                                                                                                                      |
| ○出版・印刷（5）<br>中央出版<br>マツモト<br>ぎょうせい<br>アロー印刷                |                                                                                                                                                                                                         | ○その他金融（16）<br>下関信用金庫                                                                                                                                                                                                                                                      | ○その他サービス（43）<br>日立情報システムズ<br>ジャステック<br>シーイーシー<br>オプティマムシステムズ<br>アブライド<br>ジャパンシステム<br>同和火災コンピューターサービス<br>日本コンピュータダイナミックス<br>サニックス<br>勝山産業<br>アクティス<br>川商ジェコス<br>ビーブル<br>エースシステムズ<br>川鉄情報システム<br>日本セレモニー |                                                                                                                                                                                                                                              |
| ○化学（2）<br>北陸製薬<br>清和肥料工業                                   |                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                           | ○医療（2）<br>姫路医療生活協同組合<br>黒木記念病院                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                              |
| ○一般機器（4）<br>長府製作所                                          |                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                           | ○教育（2）<br>北九州予備校<br>進学会                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                              |
| ○電気機器（4）<br>図研<br>三井ハイテック<br>日本電気<br>タバイエスベック              |                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                           | ○非営利団体（3）<br>下関市医師会<br>益田市美濃郡医師会<br>高知県信用保証協会                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                              |
| ○輸送用機器（1）<br>長崎船舶装備                                        |                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                           | ○その他サービス（43）<br>日立情報システムズ<br>ジャステック<br>シーイーシー<br>オプティマムシステムズ<br>アブライド<br>ジャパンシステム<br>同和火災コンピューターサービス<br>日本コンピュータダイナミックス<br>サニックス<br>勝山産業<br>アクティス<br>川商ジェコス<br>ビーブル<br>エースシステムズ<br>川鉄情報システム<br>日本セレモニー |                                                                                                                                                                                                                                              |
| ○精密機器（1）<br>ヨシダ                                            |                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                              |
| ○その他製造（5）<br>田崎真珠<br>ゴーシュー<br>月星化成<br>日光化成<br>住建産業         |                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                              |
| ○水道業（1）<br>山陰酸素工業                                          |                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                              |
| ○運輸（15）<br>日本通運<br>上組<br>日通航空<br>三菱化学物流<br>福山通運<br>JTB     |                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                              |

## 中国語履修1年生による 中国語劇を公演して

中国語担当 山田 留里子



青島とゆかりのある老舎の児童劇「宝船」の公演(1999年12月8日)は、200名を超える方々に来て頂くことができ大成功。この「宝船」は、子供たちが力を合わせて、悪人を懲らしめていくというストーリーで、授業として中国劇をとらえた。実際の練習では、同じ目的に向かって、みんなが立ち上がる時そこに本当の団結が生まれ、力が出るということを劇の内容と重ね合わせた。今年の年頭に私は、学校行事としての4つの目標を掲げた。「学内中国語弁論大会」、「青島大学への短期留学」、「中国語弁論山口県大会」、「中国語劇」。やっていたことは確かに中国語だったが、周囲の熱意とか思いやりがなければ、前進できなかった。やはり周りの温かな励ましが、最大の原動力だったと思う。中国語の楽しさというのは、自分で発音しているだけでは伝わらない。少しずつでもいいから、周りの人に伝えていく。自分が楽しむだけではなく、外に向かって発信していく。外に向かうということが、「世界に」向かうということにもなっていくと思う。その中で、何かが生まれ、それがまた、中国語に生かされていく。じっくりと練習を積み重ね、辛いぶんだけ、本当の喜びが出てきたのではないかな。理想を掲げ、実践し、実現していくことのすばらしさを学生と共に体験させて頂いた。また、総合的な教育活動であり、集団的な実践活動である行事をとおして、「なすことによって学ぶ」ということを各自が体験したのではないかなと思う。公演終了後、数名の高校生が私の前にやって来た。「今度は僕たちも出して下さい」と若い瞳をきらきらと輝かせていた。「一番難しいのは第一歩であり、一つ一つの実践の積み重ねの中に勝利がある」ということを実感した1999年であった。謝謝。

## 交換留学を終えて

国際商学科4年 羽田野 修

私は昨年、オーストラリアのクィーンズランド大学に交換留学生として派遣させて頂きました。オーストラリアでの1年は、私にとって大変勉強になった年でした。大学での勉強は内容の



日豪同好会パーティで。右上筆者濃いもので、1科目につき大体2回くらいのレポート提出と学期末のテストが課されます。また、大抵の科目にはゼミのような内容が含まれ、討論や発表が盛んで、多くの文献に目を通したり準備をしたりと大変でした。

オーストラリアの学生と共に学ぶので、当然言葉のハンディもありその点でも普通以上の努力が求められました。履修した科目の中で、国際関係論では、世界情勢に対しあまりに自分が無知であることを知り、専門用語や哲学的な言葉に四苦八苦し、オーストラリア経済の科目では、オーストラリア人なら子供の頃から知っていることを政治・経済の中より掘り起こすところから始めなければならなかったので大変でした。それでも、色々な授業を受けるにつれ、オーストラリア、世界、そして日本に対する理解が大変深まっていく気がしました。

学業面以外でも、日本語の会話クラスに参加させて頂いたり、学内の日豪同好会に積極的に参加させて頂いたりとても充実していました。オーストラリアでの貴重な経験はこれからの私の人生に大きく影響を与えてくれることと思います。最後になりましたが、内山先生御夫妻を始め、多くの方々に留学中大変お世話になりましたことに深く感謝の意を表したいと思います。

## 留学レポート

(トルコ・ボアジチ大学に留学中の保久豊君から内山先生宛てたメールを紹介します。)

国際商学科4年 保久 豊 秀

こちらは、朝晩は大変冷え込みますが、日中はシャツ1枚でも平気なくらいの陽気が続いています。

さて、現在ファイナルテストの真っ最中です。今日も1つ終わりました。来週の12月23日が最後です。その後は冬休みに入ります。いろいろ旅行してみたいと思います。

こっちは、今、断食の季節です。来年の1月9日までです。学生の中にはやっている人もいますが、まちまちです。勿論、僕はやっていません。日の出から日の入りまで、何も口にしていけませんが、断食をすると、逆に太ってしまうらしいのです。なぜなら、朝3時くらいに起き出して、朝食を食べ、夕方6時くらいに晩御飯を食べ、夜中にまた食べるためです。特に、夜中に甘いものを食べるとアウトです。

クリスマスはイスラムのためにそんなに派手にはしてませんが、カウントダウンがなんだか面白そうです。ドルマバフチェ宮殿で行われるのはかなり大きなものになりそうです。

今日は、こちらの学生が、日本への留学の切符を手に入れたというニュースです。

下関市立大は今のところ2人、男性が行く予定だそうです。先週決まったそうです。他に、慶応大は男性1人、東京外国語大は女性1人です。慶応はかなりの奨学金が下りるそうです。この前、彼らの授業を拝見させて頂いたが、かなり興味深かったです。

## 第38回大学祭を振り返って

大学祭実行委員長 大木 慎也

1999年という一つの節目の下に開催された第38回大学祭ですが、振り返れば準備の段階から様々な問題が山積していました。

当初は少数精鋭の幹部(11人)で「量より質」を目指し、何とかやっていけるだろうと楽観視していました。し

かし女性が大半を占める中で夏に行う広告取りや各イベントへのお手伝いは体力的にきついものがあり、非常に大変でした。大学祭当日も不意の大雨でテントが壊れたりとアクシデントが続き、とても僕らだけでは成功は有り得ませんでした。これも一重に多大な理解を示してくださった各企業や学校関係者の方々、そして例年の大学祭に比べ段ちがいについて最後まで私達を支えてくれた後輩達のおかげだと思っています。この経験が私達の糧となる事を喜びつつ、次回の大学祭も成功をおさめるよう見守っていきたいと思います

御協力ありがとうございました。

## 第39回 中・四国学生 インターゼミ(香川大)参加記

教授 山本 興 治

11月27～28日、標記の大会に山本ゼミ学生6名(専門ゼミ4+教養ゼミ2)を引率して参加した。昨年度の松山大会(広報27号参照)に引き続き参加であるが、本学ではゼミ連組織が消滅して、学生自身の財政・運営基盤がなく、山口大を窓口としたオブザーバー参加であることを断っておく。以下の箇条書きは、「市大にゼミ連再建を！」を訴える一教員の備忘録である。

(1) 一昔前、市大アイデンティティを育む場所は、クラブ・ゼミ・下宿と3つあったが、今やクラブだけだ(これもサークルに変質した?)というのが小生の理解。ちなみに、本学の40周年記念誌『飛翔』には、1972年11月5～7日、標記のインターゼミが8大学参加のもと本学で開催されたと記録されている。「課外活動も結構だが本業でも頑張らない」という小生の思いや切である。

(2) 本大会は、前準備に力点が置かれている。当番校を中心に、新学期とともに参加募集を開始、6月のテーマ設定会議を経て、テーマ毎に対抗パートが決められる。論点を整合させて、10月始めには論文を書き上げて対抗パート同士で交換しなければならないから、夏休みから9月試験シーズン前後が忙しい。10～11月には、質問書とそれへの回答書を交換する。経費の都合から、山本ゼミでは全員参加でなく選抜代表団の派遣となった。代表団は、泣き言を言いつつこの期間よく頑張った。その奮闘ぶりは、大学祭を迎えるための実行委員会を中心とした準備を想起されたい。

(3) 本番では、「日本の雇用問題」をテーマに松山大の清野ゼミ8名と討論した。1日目のアプローチ会議では論争点を再整理した。2日目は、香川大を司会役に次の4論点で討論した。①終身雇用と年功賃金の趨勢——その再編か崩壊か? ②能力主義、実力主義、年功主義——この3つの関係は? ③若者の転職希望低下の理由は? ④失業率アップの主因を女性労働者と書くのは正しいか? であっ



た。議論を煮詰めるには、確かな文献を引用すること、出典を明示する必要性を痛感させた。

(4) 7大学から250名が参加し、約15の部門で討論した。香川大4年生を先頭にした大会運営は堂に入ったものだった。記念講演もあったが、レセプションがないのが残念だった。

再言する。「市大にゼミ連を作ろう! インターゼミに参加しよう!」そして、大学生の「学力低下イデオロギ」に市大から反論の狼煙を上げよう!

## 後援会援助規程による表彰

(平成11年3月・平成11年10月)

### 人命救助

経済学科 3年 小林 豊

### 各種大会出場表彰

サッカー部 第45回北九州・下関地区大学体育秋季大会  
サッカーの部 準優勝

第46回北九州下関地区大学体育大会春期大会  
サッカーの部 準優勝

準硬式野球部 中国地区大学春期リーグ戦大会  
第1部 準優勝

バドミントン部 第46回北九州下関地区大学体育大会  
春期大会 バドミントン(女子)の部 準優勝

国際商学科 3年 高田信暁 全日本中国語弁論大会  
第8回兵庫県大会 最優秀賞

全日本中国語スピーチコンテスト第1回山口県大会

| 部 門        | 優 勝       | 準 優 勝      |
|------------|-----------|------------|
| 1 朗読の部     | 国商1年 石口洋子 | 国商1年 土井美智子 |
| 2 暗唱の部     | 国商2年 中塚康博 | 経済3年 森永由美  |
| 3 弁論の部(基礎) | 国商2年 村野正和 | 国商3年 平見あや  |
| 4 弁論の部     | 国商3年 上村美保 | 国商3年 高田伸暁  |

### 各種資格取得報償

経済学科 4年 須藤 大作 国内旅行業務取扱主任者

4年 瀬島 紀子 TOEIC 750点以上

2年 友安 俊二 簿記検定 1級

H11.3.卒 細重 宏史 宅地建物取引主任者

H11.3.卒 小田徹次郎 行政書士

H11.3.卒 前原 由幸 行政書士

国際商学科 4年 総谷 涼子 国内旅行業務取扱主任者

3年 藤原 順 国内旅行業務取扱主任者

4年 荒木 孝臣 TOEIC 750点以上

4年 鍵平 佳江 TOEIC 750点以上

4年 金光 亜紀 中国語検定 準2級

3年 松岡民希子 簿記検定 1級

4年 直山 兼士 宅地建物取引主任者

3年 古屋 博基 宅地建物取引主任者

H11.3.卒 山本 順久 初級システムアドミニストレータ

3年 岡田 孝行 初級システムアドミニストレータ

4年 野村 由美 通関士

### 特別報奨

経済学科 2年 石田 統子 平成10年度学校茶道  
体験論文 第1席

国際商学科 3年 高田 信暁 全日本中国語弁論大会第16  
回全国大会 中国大使賞

## 第46回 関北インカレ 秋季大会結果報告

第46回北九州・下関地区大学体育大会（通称「関北インカレ」）の秋季大会は、19大学が参加して10月23日から12月12日までの間に13競技が行われました。

今年度は、本学が10年ぶりの当番大学ということで、部員の皆さんは企画運営と試合参加の二足のわらじで大変だったことと思いますが、秋季大会では参加した12競技中4競技で優勝という好成績を収めました。

これからも今回の貴重な経験を生かし、様々な大会で「市大スピリッツ」を発揮してください。

秋季大会の成績は次のとおりです。

|    |          |           |         |
|----|----------|-----------|---------|
| 1  | 準硬式野球    | 優勝        |         |
| 2  | 硬式テニス    | 男 1回戦敗退   | 女 2回戦敗退 |
| 3  | ソフトテニス   | 男 1回戦敗退   |         |
| 4  | 卓球       | 男 優勝      |         |
| 5  | バレーボール   | 男 2回戦敗退   |         |
| 6  | バドミントン   | 男 1回戦敗退   | 女 準優勝   |
| 7  | バスケットボール | 男 2回戦敗退   |         |
| 8  | サッカー     | 優勝        |         |
| 9  | 空手道      | 予選リーグ敗退   |         |
| 10 | 剣道       | 男 予選リーグ敗退 |         |
| 11 | 柔道       | 3位        |         |
| 12 | 弓道       | 男 優勝      | 女 9位    |

## 学生団体新役員紹介



田辺善隆君

### 中央委員会

委員長 田辺 善隆（経済学科2年）  
副委員長 村野 友昭（経済学科2年）  
池田日香里（国際商学科1年）  
書記長 川内野 学（経済学科2年）



伊東博孝君

### 体育会

会長 伊東 博孝（国際商学科3年）  
副会長 松井 正幸（経済学科3年）  
書記長 金沢 康洋（国際商学科3年）



久志田謙吾君

### 文化会

会長 久志田謙吾（国際商学科3年）  
副会長 原田 紘幸（国際商学科3年）  
前川 洋二（経済学科3年）  
書記長 加米 沙織（国際商学科3年）



高木信一君

### 大学祭実行委員会

委員長 高木 信一（経済学科2年）  
副委員長 魚谷 哲史（国際商学科2年）  
大仁田直行（国際商学科2年）

## 部 局 だ よ り

### 図書寄贈——市民より日本文学名著の初版復刻本

昨年11月、市内生野町の市民、藤野和夫氏より日本文学の名著（夏目漱石『三四郎』、中原中也『在りし日の歌』など）の初版復刻本107冊の寄贈を受けた。図書館では3階の日本文学の書棚にカバー付きでまとめて配架する予定。貴重な初版本であり一見の価値がある。藤野氏に紙上感謝するとともに利用を薦めたい。

## 交通事故は悲惨だ

2000年は学生・教職員が一丸となって、無事故、無違反に挑戦し、有意義な素晴らしい年にしましょう。

### ★必ず守ろう「安全運転5則」

1. 安全速度を必ず守る
2. カーブの手前で、スピードを落とす
3. 交差点では、必ず安全を確かめる
4. 一時停止で横断歩行者の安全を守る
5. 飲酒運転は絶対しない

次表は、平成11年11月24日に開催された、下関管内3警察署と市内四年制4大学の「交通問題懇話会」で示された、平成11年10月末までに大学生が第一当事者となった交通事故の状況です。

| 区 分                                       | 大 学 名 | 違反種別  | 人 身 事 故 |     | 物 損 事 故 | 計   |
|-------------------------------------------|-------|-------|---------|-----|---------|-----|
|                                           |       |       | 死 亡     | 負 傷 |         |     |
| 下<br>関<br>市<br>内<br>の<br>事<br>故<br>状<br>況 | 市立大学  | 速 度   |         | 3   | 5       | 8   |
|                                           |       | 安全確認  |         | 1   | 26      | 27  |
|                                           |       | そ の 他 |         | 10  | 41      | 51  |
|                                           |       | 小 計   |         | 14  | 72      | 86  |
|                                           | A     | 速 度   |         |     | 3       | 3   |
|                                           |       | 安全確認  |         | 2   | 12      | 14  |
|                                           |       | そ の 他 |         | 3   | 17      | 20  |
|                                           |       | 小 計   |         | 5   | 32      | 37  |
|                                           | B     | 速 度   |         |     |         |     |
|                                           |       | 安全確認  |         | 2   |         | 2   |
|                                           |       | そ の 他 |         | 2   | 10      | 12  |
|                                           |       | 小 計   |         | 4   | 10      | 14  |
|                                           | C     | 速 度   |         | 1   | 9       | 10  |
|                                           |       | 安全確認  |         | 4   | 49      | 53  |
|                                           |       | そ の 他 |         | 10  | 47      | 57  |
|                                           |       | 小 計   |         | 15  | 105     | 120 |
|                                           | D     | 速 度   |         |     | 4       | 4   |
|                                           |       | 安全確認  |         | 1   | 26      | 27  |
|                                           |       | そ の 他 |         | 11  | 52      | 63  |
|                                           |       | 小 計   |         | 12  | 82      | 94  |
|                                           | 合計    | 速 度   |         | 4   | 21      | 25  |
|                                           |       | 安全確認  |         | 10  | 113     | 123 |
|                                           |       | そ の 他 |         | 36  | 167     | 203 |
|                                           |       | 小 計   |         | 50  | 301     | 351 |

## 平成11年度 年間行事

## 4月

- 1日(休) 春季休業開始 4/7まで  
 8日(休) 入学式  
 9日(休) 春学期授業開始  
 15日(休) 名誉教授称号授与式

## 5月

- 13日(休) 留学生歓迎会  
 30日(日) 後援会総会

## 6月

- 1日(休) 開学記念日  
 17日(休) 学生総会  
 23日(休) 入試説明会

## 7月

- 9日(休) 春学期試験時間割発表  
 16日(休) 夏季休業開始 8/31まで  
 21日(休) 東アジア三大学シンポジウム  
 30日(休) 関門地域共同研究会シンポジウム

## 8月

- 3日(休) キャンパス見学会

## 9月

- 1日(休) 春学期補講 9/3まで  
 17日(休) 就職ガイダンス  
 22日(休) 市民大学(朝鮮語初級) 12/15まで  
 27日(休) 市民大学(中国語初級) 12/20まで  
 30日(休) 市民大学(英語中級) 12/16まで

## 10月

- 1日(休) 市民大学(コンピュータ) 11/19まで  
 12日(休) 秋学期授業開始  
 19日(休) 山口県大学等懇談会  
 21日(休) 春学期卒業式  
 自己点検評価委員会外部評価会議  
 23日(休) 市民大学基礎講座「下関さまざま」  
 30日(休) 市民大学基礎講座「下関さまざま」  
 31日(日) 大学祭 11/3まで

## 11月

- 5日(休) 特別選抜(推薦・帰国子女・社会人・編入学)  
 願書受付開始 11/12まで  
 6日(休) 市民大学シンポジウム  
 「下関はどんなまち、こんなまち」  
 22日(休) 特別選抜(推薦・帰国子女・社会人・編入学)  
 入試  
 29日(休) 特別選抜(推薦・帰国子女・社会人・編入学)  
 合格発表

## 12月

- 1日(休) 特別選抜(推薦・帰国子女・社会人・編入学)  
 入学手続 12/8まで

- 6日(休) 特別選抜(中国引揚者等子女・外国人留学生)  
 願書受付 12/17まで  
 25日(休) 冬季休業開始 1/7まで  
 28日(休) 公務納め

## 1月

- 4日(休) 公務始め  
 15日(休) 大学入試センター試験 1/16まで  
 24日(休) 特別選抜(中国引揚者等子女・外国人留学生)  
 入試  
 28日(休) 特別選抜(中国引揚者等子女・外国人留学生)  
 合格発表  
 31日(休) 秋学期補講 2/1まで

## 2月

- 2日(休) 秋学期(後期)試験開始 2/18まで  
 25日(休) 前期日程入試実施  
 16日(休) 第3回就職ガイダンス

## 3月

- 7日(休) 前期日程入試合格発表  
 8日(休) 公立大学中期日程(旧C日程)入試  
 9日(休) 前期日程入試手続開始 3/15まで  
 22日(休) 公立大学中期日程(旧C日程)入試合格発表  
 23日(休) 公立大学中期日程(旧C日程)入学手続開始  
 3/27まで  
 25日(休) 卒業式

## 平成12年度 行事予定

- 4月1日(休) ☐ 春季休業期間  
 4月7日(休) ☐ 入学式  
 4月8日(休) 入学式  
 4月10日(休) 春学期授業開始(含むオリエンテーション)  
 6月1日(休) 創立記念日(休業日)  
 7月15日(休) ☐ 夏季休業期間  
 8月31日(休) ☐ 春学期補講  
 9月1日(休) ☐ 春学期補講  
 9月5日(休) ☐ 春学期定期試験  
 9月6日(休) ☐ 春学期定期試験  
 9月22日(休) ☐ 秋学期授業開始(含むオリエンテーション)  
 10月10日(休) 秋学期授業開始(含むオリエンテーション)  
 11月上旬 大学祭  
 12月25日(休) ☐ 冬季休業期間  
 1月8日(休) ☐ 秋学期補講  
 1月30日(休) ☐ 秋学期補講  
 1月31日(休) ☐ 秋学期定期試験  
 2月1日(休) ☐ 秋学期定期試験  
 2月19日(休) ☐ 卒業式  
 3月25日(休) 卒業式  
 春 学 期 4月1日～9月30日  
 秋 学 期 10月1日～3月31日